

学ぶ喜び

2026.2.24

VOL.24

一仲間とともにつながる学校へ

実践、一緒に観に行きませんか？

公開研を終え、次は「外の風」を取り入れる番です。この度、本校も高知から視察の打診を頂きました。泰山先生が関わる学校の先生で、本校の歩みに注目されています。

また、泰山先生が3年間伴走されており、先日の公開研にもご参加くださった、門真市の学校へも視察に伺います。(3校の交流として3/16午前) 目的は「授業観の転換」です。指示待ちではなく、生徒が自ら動き出す「主体的な学びの場」をどう創るか。他校に先立ち、生徒主体の学びを進める学校の授業を目にする絶好の機会です。

他校の姿を見ることは、私たち教員の「学びの喜び」に直結します。外の刺激を糧に、授業をより面白く、生徒が輝くものへ。公開研は「終わり」ではなく、ここからが本当の「始まり」です。共に一歩踏み出しませんか。

【お誘い】他校視察で「授業のヒント」を盗みませんか？

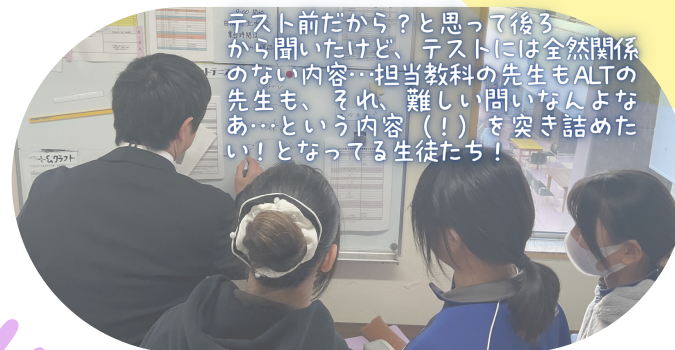
「子ども主体の授業」のイメージを明確にするため、他校の授業をのぞきに行きませんか？

視察の一番のメリットは、一人で悩むより「良いアイデアを盗める」ことです。「これなら明日から使える」「この工夫、うちの生徒にも合いそう」といった発見は、私たちの毎日をぐっと豊かにしてくれます。

「研修」と構えず、外の空気を吸ってリフレッシュするつもりで参加してください。

他校の先生の動きや生徒の表情を見るだけで、必ず新しい「学びの喜び」が見つかります。

希望される方は、平林まで。一緒に「生徒の学びを支える授業」のヒントを探しに行きましょう！



テスト前だから？と思って後ろから聞いたけど、テストには全然関係のない内容…担当教科の先生もALTの先生も、それ、難しい問いなんよなあ…という内容(!)を突き詰めた！となっている生徒たち！

公開研を経て、校内に確かな変化の芽が生まれています。所属している一年生の教室では、生徒が自ら問いを立て、対話する「主体的な学び」への転換が加速している気がします。

何より胸を打つのは、生徒たちの「止まらない探究心」です。「もっと知りたい！」「納得したい！」と目を輝かせる姿は、教える側の想像を軽々と超えています。(子どもたちこの姿こそ、私たちがめざす「学ぶ喜び」の原点ではないでしょうか。

公開研はゴールではなく、こうした姿を全校に広げるための号砲です。一部の教室で起きているこの熱量を、学年を超えて繋いでいきませんか。生徒の輝きに学び、私たちも共に授業をアップデートしていきましょう！



これ、休み時間なんです…この日だけではない…毎日、こんな感じ…クラスのあちこちで。

休み時間の姿が……違ってきた……気がします



視察先の学校の
スクールデザインです